第千五百五十号

平成十七年

二月二十八日

月 曜

#### 目 次

告 示

道路の供用開始 ( 三件 ) ...... - 0四  $\subseteq$ 

建築基準法に基づく道路位置指定......

- 0 五

開発行為に関する工事の完了について....... 第三十六期山梨県労働委員会委員候補者の推薦について...... \_ 〇六 \_ 〇 六

開発行為及び公共施設に関する工事の完了について (三件)......

#### 告 示

次の病院を救急病院として認定した。 山梨県告示第八十八号 救急病院等を定める省令(昭和三十九年厚生省令第八号)第一条第一項の規定により、

平成十七年二月二十八日

救急病院の名称及び所在地

山梨県知事

Щ

本

栄

彦

勝沼町立勝沼病院 名 称 東山梨郡勝沼町勝沼九百五十番地 所 在 地

認定期間

平成十七年二月二十五日から平成二十年二月二十四日まで

## 山梨県告示第八十九号

Щ

梨 県

公

報

第千五百五十号

平成十七年二月二十八日

日 路の供用を開始する。 道路法(昭和二十七年法律第百八十号)第十八条第二項の規定により、 次のとおり道

山建設部において、この告示の日から平成十七年三月二十二日まで一般の縦覧に供す その関係図面は、山梨県土木部道路管理課及び峡東地域振興局塩

平成十七年二月二十八日

山梨県知事

Щ

本

栄

彦

県道	種道類路の
杣口	路
塩	線
線	名
巻四二七番の三地先まで東山梨郡牧丘町大字城古寺字鶴巻四三六番の一地先から東山梨郡牧丘町大字城古寺字鶴東山梨郡牧丘町大字城古寺字鶴	区間
·>	(メートル)延
日 二月二十八	期日 開始の

### 山梨県告示第九十号

一〇六

覧に供する。 域振興局都留建設部において、 この告示の日から平成十七年三月二十二日まで一般の縦 路の供用を開始する。その関係図面は、山梨県土木部道路管理課及び富土北麓・東部地 道路法 (昭和二十七年法律第百八十号) 第十八条第二項の規定により、次のとおり道

平成十七年二月二十八日

山梨県知事 Щ 本 栄 彦

道 一 般 国	種道類路の
_	路
三九	線
5	名
四番の一地先まで富士吉田市下吉田字新田六一四富士吉田市下吉田字新田六一四富士吉田市下吉田字堀内二七〇	区間
1 元00・0	(メートル) 延 長
三月三日平成十七年	期日 開始の

# 山梨県告示第九十一号

路の供用を開始する。 建設部において、 道路法 (昭和二十七年法律第百八十号) 第十八条第二項の規定により、次のとおり道 この告示の日から平成十七年三月二十二日まで一般の縦覧に供す その関係図面は、山梨県土木部道路管理課及び峡南地域振興局市

る

平成十七年二月二十八日

山梨県知事
Щ
本
栄
彦

県 道	種道類路の
園 四線 尾	路
連湖公	線
公	名
石畑六一九〇番の一地先まで西八代郡市川大門町大字山家字石畑六一九二番の二地先から西八代郡市川大門町大字山家字西八代郡市川大門町大字山家字	区間
= -	(メートル)延 長
Ö	ル長
三月 一日 日 年	期日開始の

### 山梨県告示第九十二号

山梨県土木部砂防課及び峡南地域振興局市川建設部に備え置いて縦覧に供する。 条第一項の規定により、 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(昭和四十四年法律第五十七号)第二 平成十七年二月二十八日 次の区域を急傾斜地崩壊危険区域に指定する。 その関係図面は、

山梨県知事 Ш 本 栄

彦

|本 |

下子ノ神		壞急 危険区域 城崩
十十十十十十十九八七六五四三	標柱番号	号を結んだいのでは、日本のでは、日本では、日本では、日本では、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のではは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のはは、日本のははは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のではは、日本のははは、日本のではは、日本のでははは、日
同同同同同同南 巨 摩 郡	郡市	にの標た八ま柱県 囲標柱区号で号番 ま柱号が結標十
同同同同同同身 延 町	町村	た 三日五十号では だった 一日 でんだ にに にんだ に に に に に に に に に に に に に に に
同同同同同同夜 子 沢	大字	は に に に に に に に に に に に に に
同同同同同同同下 子 ノ 神	字	一場中の標柱と同告示中の場合がは、標柱を結んだ線、標柱番号十八号の標柱を結んだ線、標柱番号十八号の標柱と同告示中の標柱七号順次結んだ線、標柱番号十八号の標柱を結んだ線、標柱番号十三号にがに続いては、標柱番号十三号を結んだ線及び同標柱と同告示中の標柱七号と次に掲げる地番
六同三九同同六四 — — — — —	地番	に が同標柱と同告示中の標柱十 が同標柱と同告示中の標柱と同 が同標柱と同告示中の標柱で号を結んが線、標柱番号十八号の標柱と同 が同標柱と同告示中の標柱で号を結んがは、標柱番号十八号の標柱と同 が同標柱と同告示中の標柱で号を結んがは、標柱番号十八号の標柱と同 を結んだ線、標柱番号十三号から標 はを結んだ線、標柱番号十三号から標 を結んだ線、標柱番号十三号から標 がに線を結んだ線、標柱番号十三号から標 がに線を結んだ線、標柱番号十三号から標 がにまる地番の土地

### 山梨県告示第九十三号

山梨県土木部砂防課及び峡南地域振興局市川建設部に備え置いて縦覧に供する。 条第一項の規定により、次の区域を急傾斜地崩壊危険区域に指定する。その関係図面は、 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(昭和四十四年法律第五十七号)第二

平成十七年二月二十八日

山梨県知事

Щ

本

栄

彦

壊危険区域 急傾斜地崩 上の平 二十十十 十九八七 に設置した標柱番号十七号の標柱を結んだ線、標柱番号十七号から標平成七年山梨県告示第九十一号中の標柱十号と次に掲げる地番の土地 告示中の標柱十一号を結んだ線及び同標柱と同告示中の標柱十号を結 標柱番号 んだ線に囲まれた区域 柱番号二十号までの標柱を順次結んだ線、標柱番号二十号の標柱と同 同同同南巨 座 郡 郡 市 同同同身延町 町 村 上之平 同同同 大 字 同同同寺 り 前 字 同同同六三七 地 番 =

### 山梨県告示第九十四号

山梨県土木部砂防課及び峡南地域振興局市川建設部に備え置いて縦覧に供する。 条第一項の規定により、次の区域を急傾斜地崩壊危険区域に指定する。その関係図面は、 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(昭和四十四年法律第五十七号)第三

平成十七年二月二十八日

山梨県知事 Щ 本 栄 彦

		1+ 5
		壊 危 傾斜 地崩
八七六	標柱番号	号の標柱と同から標柱番号に出る工作とは
同 同 南 巨 摩 郡	郡市	告二設梨 一六世間 一六世間 日本日
同同身 延 町	町村	中の標柱五号を結四号までの標柱をいる標件を
同同熊沢	大字	五号を結んだ線の標柱を順次結番号六号の標柱を順次結番号六号の標料を
上坂家ノ東山前	字	に に に に に に に に に に に に に に に に に に に
六八六 七二 九九七	地番	に区域 受標柱番号二十四 で、標柱番号六号 で、標柱番号六号

山梨県告示第九十六号

第千五百五十号 平成十七年二月二十八日

熊 
同家上家上同同同同同同家上北同同同 ノノノノ ノノ川 前山前山 前山
六六六六六同六六同六六六五六六六 二三七四七 四四 五五五三五六九 九一八一六 三二 三二四五六二五 二 ——

### 山梨県告示第九十五号

るූ 山梨県土木部砂防課及び富士北麓・東部地域振興局都留建設部に備え置いて縦覧に供す 条第一項の規定により、次の区域を急傾斜地崩壊危険区域に指定する。その関係図面は、 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律 (昭和四十四年法律第五十七号) 第三

平成十七年二月二十八日

山梨県知事 Щ 本 栄 彦

馬 込		壊危 険 経 域 球 期
== ++ =-	標柱番号	だ線に囲まれた区域告示中の標柱四号をと標柱番号二十二号を地に設置した標柱番
同 南都留郡	郡市	られた区域 特四号を結んだ線で 二十二号の標柱を結 がに終れ ができました。 は四号を結んだ線で は四号を結んだ線で は四号を結んだ線で は四号を結んだ線で は四号を結んだ線で は四号を結んだ線で は四号を結んだ線で は一日
   富士河口湖町	町村	線を一十
同船津	大字	及び同標柱と同告示中の標柱結んだ線、標柱番号二十二号号の標柱を結んだ線、標柱番六十二号
同水川戸	字	宗中の標と次に提
同四	地番	の標柱三号を結ん十二号の標柱と同標柱番号二十一号

山梨県土木部砂防課及び富士北麓・東部地域振興局大月建設部に備え置いて縦覧に供す 条第一項の規定により、次の区域を急傾斜地崩壊危険区域に指定する。その関係図面は、 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律 (昭和四十四年法律第五十七号) 第三

平成十七年二月二十八日

山梨県知事 Щ 本 栄 彦

壊 急 傾斜 地崩	柱を結んだ線に囲まれた区域までの標柱を順次結んだ線及び次に掲げる地番の土地に設置し	に線に囲まり地番の十	れん地	た区線設置	びし 標た	柱標 番柱号番	二号十一	囲まれた区域次結んだ線及び標柱番号二十三号と標柱番号一号の標の土地に設置した標柱番号二十三号と標柱番号二十三号	柱柱番号一	号 号 の 標 号
	標柱番号	郡市		町	村	大	字	字	地	番
	_	上野原市	נוו			鶴島		駒門	三八	番地
	_	同				同		同	二 先 河川	二敷
	Ξ	同				同		同	同	
鶴島	四	同				同		同	同	
	五	同				同		同	同	
	六	同				同		同	二九	八
	、七	同				同		同	同	Ĺ
	九 /	司同				司同		司同		<u> </u>
	+:	同				同		同	=	<u> </u>
	+	同				同		同	三八	五
	+ + = =	司同				司同		司同	三二八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	· 四 —
	十 : 四 :	同				同		同	三八	五:
	士五	同				同		同	同	,
	十十七六	同同				同同		同同		<b>西</b> 八
	十八	同				同		同		
	二 十 十 九	司同				司同		司同	司同	
	<u>-</u> :	同				同		同	二九	九
	= <u>=</u> + + = =	司同				司同		司同	三	- — 昏 也
	- - - - - -	Ē				Ē		Ē		敷-

## 山梨県告示第九十七号

〇 六

縦覧に供する。 の位置を次のとおり指定する。その関係図書は、 建築基準法 (昭和二十五年法律第二百一号)第四十二条第一項第五号に規定する道路 山梨県土木部建築指導課に備え置いて

平成十七年二月二十八日

道路の位置

山梨県知事 Щ 本 栄 彦

笛吹市御坂町井之上字金清寺六七一番九、六七一番一五及び六七二番四

道路の幅員

道路の延長 六・〇一メートル

Ξ

四二・三九メートル

#### 公 告

第三十六期山梨県労働委員会委員候補者の推薦について

り第三十六期山梨県労働委員会の使用者委員及び労働者委員の候補者の推薦を求めるの Ç 労働組合法施行令 (昭和二十四年政令第二百三十一号)第二十一条第一項の規定によ 公告する。

平成十七年二月二十八日

山梨県知事 Щ 本 栄 彦

推薦資格を有するもの及びその推薦方法

1 使用者団体

- のみ組織を有するものであること。 使用者委員候補者を推薦し得る資格を有する使用者団体は、 山梨県の区域内に
- 一の使用者団体は、 書面により候補者を推薦すること
- 2 労働組合
- 第五条第二項の規定に適合するものであること。 み組織を有し、 労働者委員候補者を推薦し得る資格を有する労働組合は、山梨県の区域内にの かつ、労働組合法 (昭和二十四年法律第百七十四号) 第二条及び
- を添付すること。 の書面にその労働組合が「の規定に適合する旨の山梨県労働委員会の資格証明書 一の労働組合は、書面により候補者を推薦すること。この場合にあっては、そ
- 被推薦者の資格制限等
- 1 被推薦者が労働組合法第十九条の四第一項の規定に該当する場合には、 委員とな

ることができない。

- 2 百六十一号) 第三十五条及び第三十八条の規定の適用を受ける。 法律第百二十号) 第百一条及び第百四条又は地方公務員法 (昭和二十五年法律第二 公務員である被推薦者が委員に就任する場合には、国家公務員法 (昭和二十二年
- Ξ

平成十七年三月二十八日 (月) から同年四月二十七日 (水) まで

兀 推薦書の提出場所

山梨県商工労働部労政雇用課 ( 郵便番号四〇〇 八五〇一 甲府市丸の内一丁目六

番一号)

開発行為に関する工事の完了について

•

都市計画法 (昭和四十三年法律第百号) 第二十九条第一項の許可に係る開発の行為に

関する工事は、完了した。

平成十七年二月二十八日

山梨県知事 Щ

本

栄

彦

四

三及び一四三の二の区域 開発区域 ( 工区 ) に含まれる地域の名称 中巨摩郡昭和町清水新居字宮ノ上一二四、 

開発許可を受けた者の住所及び氏名

甲府市国母一丁目十七番三十五号 大間政茂

開発行為及び公共施設に関する工事の完了について

及び公共施設に関する工事は、 ledow都市計画法 (昭和四十三年法律第百号) 第二十九条第一項の許可に係る次の開発行為 完了した。

平成十七年二月二十八日

山梨県知事 Щ 本 栄

彦

開発区域 ( 工区 ) に含まれる地域の名称

三二、五三五の一及び五三六の区域 の一、五二七の一、五二七の四、五三〇の一、五三〇の二、五三〇の四、五三一、五 都留市四日市場字走落五二三の二、五二五の一、五二五の四、五二五の五、 五二六

二 公共施設の種類、位置及び区域

公共施設の種類 位 置 及 び X 域

| 公 - 園 - | 次の図のとおり

建設部及び都留市役所に備え置いて縦覧に供する。) (「次の図」は、省略し、その図面及び関係書類を富士北麓・東部地域振興局都留

三 開発許可を受けた者の住所及び氏名

都留市四日市場千百十九番地 有限会社杉本工務所 代表取締役 杉本和夫

》 開発行為及び公共施設に関する工事の完了について

に関する工事及び開発行為のうち公共施設に関する工事は、完了した。都市計画法(昭和四十三年法律第百号)第二十九条第一項の許可に係る次の開発行為

山梨県知事

平成十七年二月二十八日

知事 山 本 栄 彦

甲斐市篠原字戸田道下八〇六の一、八〇六の四、八〇六の五、八〇六の六、八〇六開発区域(工区)に含まれる地域の名称

| 公共施設の種類、位置及び区域

の七、八〇六の八、八〇六の九及び八〇六の一〇の区域

ごみ 置場 路	公共施設の種類
次の図のとおり	位置及び区域

市役所に備え置いて縦覧に供する。) (「次の図」は、省略し、その図面及び関係書類を峡中地域振興局建設部及び甲斐

三 開発許可を受けた者の住所及び氏名

甲府市酒折三丁目一番四号 太田芳子

甲府市里吉一丁目五番八号 有限会社小林興業 代表取締役 小林肇

● 開発行為及び公共施設に関する工事の完了について

都市計画法(昭和四十三年法律第百号)第二十九条第一項の許可に係る次の開発行為

平成十七年二月二十八日に関する工事は、完了した。

山梨県知事 山 本 栄 彦

開発区域(工区)に含まれる地域の名称

Щ

梨

県

公 報

第千五百五十号

平成十七年二月二十八日

〇の三及び八〇の六の区域五、七九の一七、七九の一八、七九の一九、八五、七九の二、七九の一四、七九の一五、七九の一七、七九の一八、七九の一九、八八の九、七八の一〇、七八の一一、七八の一二、七八の六、七八の一四、七八の八、七甲斐市富竹新田字下北裏七八の一、七八の五、七八の六、七八の七、七八の八、七甲斐市富竹新田字下北裏七八の一、七八の五、七八の六、七八の八、七八の三及び八〇の六の三段は、七八の一、七八の二、七八の二、七八の一、七八の二、七八の二、七八の二、七八の二、七八の二、七八の二、七八の二、七

| 公共施設の種類、位置及び区域

水道路路	公共施設の種類
次の図のとおり	位置及び区域

市役所に備え置いて縦覧に供する。) (「次の図」は、省略し、その図面及び関係書類を峡中地域振興局建設部及び甲斐

三 開発許可を受けた者の住所及び氏名

甲府市下石田二丁目十五番七号 株式会社テイジン 代表取締役 保坂貞仁

	,
発行者	山梨県
山梨	県公報
県田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	第千二
甲府市丸の内一丁目六番一号	第千五百五十号
一丁目六番	平成十七
号	平成十七年二月二十八日
印刷所	八日
㈱サンニチ印刷	
甲府市北口二丁目六番	
六番	
	2